



学力UP便り

平成30年8月20日(月)

第4号

発行：学力向上チーム



2学期、スタートです！

今日から2学期が始まりました。1年で一番長い学期であり、毎年恒例の「教育研究発表会」のほか、学芸会などたくさんの行事があります。子どもたちが落ち着いた環境下で「深い学び」を進めていくことができるよう、職員一同、張り切っています。今学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

早速ですが、学年ごとの2学期は、どのような学習でスタートするのか、算数の内容について、簡単に紹介させていただきます。

- 1年生：「どちらがながい」** 長さの学習が始まります。1年生では、まだ「cm」等の単位は出てきません。2つのリボンがあって、どちらが長いかを直接比べたり、「ブロックいくつ分」で比べたりします。そこから、「普遍単位～cmなど」の必要性に発展して、2年生の学習につながっていきます。
- 2年生：「計算のくふう」** $7+12+8$ という計算があるとき、これまでは「計算は左から」という原則がありました。12+8を先に計算すれば計算が簡単にできるといった、数の操作の仕方について学習していきます。() が初めて出てきますし、簡単な暗算の仕方などについても触れます。
- 3年生：「大きい数のしくみ」** 10000よりも大きな数についての学習です。位取りの便利さは、「10こ集まると、ひとつ大きな位になる」というところにありますが、そのことへの理解をより深め、大きな数の読み書きができるようにしていきます。1億までの数や、「数直線」が出てきます。
- 4年生：「大きい数のしくみ」** そろばんの学習の後、この単元に入ります。3年生と同じ名前ですが、4年生では1000兆までの数を扱い、更にそれ以上の大きな数についても触れていきます。また、大きな数の計算や、0～9の数を使っての、「最大、最小」の数づくりにも取り組んでいきます。
- 5年生：「偶数と奇数、倍数と約数」** 高学年らしい、抽象的な内容の学習です。特に倍数や約数は、これまで扱ったことのない新しい概念で、最大公約数、最小公倍数といった、一見難しそうな言葉も次々と登場します。今後学習する「分数の計算」にも考え方を多用する、重要な単元のひとつです。
- 6年生：「比と比の値」** 5年生時に「割合」の学習をしていますが、6年生ではその内容をさらに深化し、「比」の学習を行います。割合は、一方を基にしたときに、もう一方が60%である、などと「基準値」を設けますが、比は「5：3」など、関係性を並列で表す、割合の表現法のひとつです。

学校以外での学習時間は・・・？

すでに新聞等でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、このほど「全国学力・学習状況調査」の全国レベルでの結果が公表されました(学校レベルでの公表はもう少し先になります。公表され次第、分析を行い、本校の結果と傾向をお知らせします)。

北海道の結果は、昨年度までと比べて上回った一方、学校以外での学習時間は、全国平均と比べ、依然少ないということが報告されていました(「帯小が」ではなく、あくまでも北海道が、ですが)。その分、テレビやDVD、ゲーム、インターネットなどにかかる時間が多という分析結果が出ているそうです。

学力UP便りの1号では、毎年「家庭学習」について、お知らせしています(大切なのは内容ですが、めやすとしての学習時間は、学年×10+10分間です)。

子どもたちの学習習慣の確立のために、2学期スタートのこの機会に、改めてご家庭でも話題にさせていただければと考えています。よろしくお願いいたします。

